

各位

2022年7月1日
会社名 のむら産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清川悦男
(コード番号：7131 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 西澤賢治
(TEL 042-497-6191)

2022年10月期 第2四半期決算 決算補足資料

この補足資料は、2022年6月13日に発表いたしました2022年10月期第2四半期決算について、投資家の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q 1 | 2022年10月期第2四半期の業績が好調な理由と、通期業績予想上方修正の可能性について教えてください。

A | 2022年10月期第2四半期業績に関しては、まん延防止等重点措置が行われる等、巣ごもり需要の拡大があり、家庭用販売が堅調に推移しました。また、機械販売は堅調に推移しております。さらに営業利益にしましては、素材や部品などの仕入れ価格高騰の影響を抑えるために、販売費および一般管理費など様々なコストダウンに注力をいたしました。その結果、前年同期比増収、大幅増益となりました。

通期予想に関しては、原油高や円安による包材と機械部品の仕入れ価格の上昇、新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻の長期化による影響等の不確定要素を考慮し、通期業績予想は変更せず、据え置きとしております。

Q 2 | 米穀以外に菓子メーカーの事例がありました。米穀以外の分野へのアプローチ状況とクライアントの評価について教えてください。

A | 菓子メーカーの事例については、メーカー側から工場間輸送に当社の計量包装が適しているのではないかと問合せを受け実現したところでございます。クライアントからの評価は、いままで求めていたものを当社の製品、サービスで解決でき、非常に喜んでいただいております。その他にペットフードや猫砂などの実績もあり、これらを引きかけに、米穀以外でも当社の事業領域が拡大する可能性が十二分にありますので、営業強化をしております。

Q 3 | 西日本エリア強化でシナジー効果の高い企業と組むとあるが、どういう企業になるのか？

A | 当社の営業エリアはこれまで東日本が中心であり、国内にもまだまだ成長の余地がございます。そこで今後西日本エリアへの強化を行っていくのですが、すでに米穀包装業界において西日本でも高いシェアを持つメーカー様との業務提携を進めております。こちらのメーカー様は自社で包装機以外の機械の製造・販売も行っているのですが、当社の製品のクオリティについても理解していただいております、当社機械製品の販売を行っていただいております。

また、西日本エリアを拠点とした包装資材の仕入先を開拓することにより、西日本エリアにおける包装資材の販売を拡大したいと考えております。

このように、当社の営業が十分ではないエリアにて高いシェアを持ち、なおかつ当社の製品について理解のある企業との提携を行っていくとともに、仕入先の開拓なども含めて西日本エリアの強化を進めていくことを考えております。

以上